

特急形気動車の完成について

平成 29 年 1 月 30 日

J R 四国では、予讃線、土讃線、高徳線で使用している 2000 系特急形気動車の老朽取替のため、新製していた 2600 系特急形気動車が完成し、2 月 15 日に高松運転所に到着しますのでお知らせします。

1 完成両数

4 両 (2 両編成×2)

2 車両の主な特徴

(1) デザイン

○デザインコンセプト

“Neo Japonisme (ネオジャポニスム)” をコンセプトに、日本の伝統意匠を現代風アレンジしたデザインで、安らぎと先進性をあわせ持たせた特急車両としました。

○エクステリアデザイン

四国の豊かな自然「青と緑」に映えるディープレッドを基調としたカラーリングとし、吉兆の伝統配色「赤と金」で次世代の特急列車を彩っています。

ディープレッドのラインを筆の流れにみたと、紅墨汁のにじみのごとく、赤い色彩がステンレスボディに染み入る様をゴールドの縁取りで表現しています。

○インテリアデザイン

和柄をモチーフとした装飾を、ドアやシートのアクセントデザインに用いて、伝統と先進性をそれぞれ対比・強調させるデザインとしています。

客室は、車両毎に「臍脂 (えんじ)」と「紺」のシートモケットで彩り、それぞれ味わいの違いを楽しめる車内空間を演出しています。

(2) 客室設備

○腰掛は、8600 系特急形直流電車の普通車と同タイプを採用しました。

背もたれと連動して座面が前方にスライドするリクライニング機構を採用し、座り心地の向上を図っています。

各座席にはコンセント・可動式枕・ドリンクホルダー・コートフック等を設置した他、モバイルパソコン等のご利用を考慮し、テーブルの大型化を図っています。

○バリアフリー整備ガイドラインを考慮した車内設備とし、車いす対応多機能トイレを設置しています。多機能トイレには、オストメイト対応設備、ウォシュレット、小さなお子様連れのお客様を考慮したベビーベッド、ベビーキープの他に、フィッティングボード等を設置しています。

○客室照明には LED 照明を採用し、消費電力の削減とメンテナンスの軽減を図っています。

○お客様に安心してご利用いただけるよう、車内に非常通報装置 (SOS ボタン)、防犯カメラを設置しています。

(3) 車両性能

○最高運転速度は 120km/h です。

新型特急気動車のデザイン及び主な仕様

1. 外部パース



2. 室内パース



Mc車：臙脂(えんじ)色シート



Mc'車：紺色シート

3. 形式図

